



平成23年度決算を承認

7月21日(土)に第109回通常組合会開催

さる、7月21日(土)に第109回通常組合会が札幌全日空ホテルにおいて開催された。今回の議案は、理事会専決事項の承認、平成23年度決算の承認および剰余金処分案の決定で、これらは原案どおり可決された。

以下、組合会の概要についてお知らせする。

なお、平成23年度歳入歳出決算書・財産目録、事業報告書の詳細については、本誌9月1日付け：第1128号附録で公告(道医国保公示第381号)しているのでご参照いただきたい。

組合会は午後3時30分、山本秀樹組合会議長が議長席に着き開会され、議員定数63名中34名(最終出席者数45名、他に表決委任状提出者15名)の出席があり成立した。

最初に、赤倉昌巳理事長から挨拶があった。

赤倉昌巳理事長挨拶

『今日は、大変お暑いところ、全道各地から先生方には何かとお忙しい中ご出席いただき、誠に有り難うございます。

平素より組合会議員といたしまして当組合の事業運営に格別のご支援並びにご協力いただきまして、厚く御礼を申し上げます。

お陰様をもちまして、平成23年度の事業につきましては、予定どおり終えることができました。

本当にありがとうございました。

さて、国政におきましては、民主党政権となって以来、国保組合に対する風当たりが非常に強うございまして、特に組合員の所得が高いと言われている医師国保組合に対しましては、「国庫補助金をゼロとする」とのことで、一昨年来から問題視されているところでございます。

昨年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故が勃発いたしまして、政府は震災対応に追われておりまして、それどころでは無い状況でございます。

国庫補助金の削減に関しましては、1年先延ばしとなっております。

さらに後期高齢者医療制度の廃止法案についても、消費税増税法案における政府の混乱によりまして、今国会には法案提出を行われなことが決まりました。

つい2～3日前の報道等でご存知かと思えます。

今後、総選挙も予想されることから、今暫くは現状維持にて推移していけるものと思っております。

いずれにせよ、当分は、政局の動向を見守るしかございません。



赤倉昌巳理事長挨拶

大変不安な状況下ではございますが、本日の組合会におきましては、ご案内のとおり平成23年度の収支決算の承認と、剰余金の処分についてが、主な議題でございます。

後ほど、詳細な説明をさせていただきますが、平成23年度の決算を見ますと、歳入では被保険者数の減少により、国民健康保険料は、ここ数年、減少傾向をたどっております。

また、後期高齢者支援金の一人当たりの負担金が増加しております。

この後期高齢者支援金につきましては、医療分保険料の中で、調整をしておりますので、保険料増収は見込まれず、この歳入不足に対し繰入れを行っておりますが、繰入金のお占める割合が大きくなっておりまして、歳入の構成の特徴でございます。

反面、歳出におきましては、先程申し上げましたとおり、被保険者数が減少しているにも係わらず、療養給付費は前年度同様となっております。

また、後期高齢者支援金等の拠出金の増加とともに、昨年度に超過交付されました国庫補助金の返還もございましたので、単年度では、昨年度に引き続き、赤字決算となりました。

しかしながら、当組合は過去から備蓄された財産がございますので、まだ当分の間は持ちこたえられる体力はあるものと考えております。

本日お諮りする各議案につきましては、先生方に



畑俊一常務理事提案説明

慎重にご審議をしていただき、ご承認を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりになりますが、本日の会議終了後には、恒例となりました懇談の場を設けております。

時間の許す限り意見交換並びにご懇談等をいただきますよう、お願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、組合会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。』



次いで、山本議長から議事録署名議員として、次のとおり指名した。

函館市：多田正人議員、岩見沢市：鎌田理議員

この後、平成23年6月から平成24年5月までの1年間にご逝去された51名の組合員の方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。

報告事項に入り、本年4月から6月までの業務報告が畑俊一常務理事からなされ、報告どおり承認された。

ここで議長は山本議長から佐藤信清副議長に交替した。

議案第1号 理事会専決事項につき承認を求めることについて

- (1) 「平成24年度自家診療特認医療機関の指定について」



堀江洋三常務理事決算提案説明

- (2) 「北海道医師国民健康保険組合旅費規程の一部改正について」

畑常務理事が上記の2項目について提案理由を説明し、審議に入り、理事会専決どおり承認可決された。

議案第2号 平成23年度歳入歳出決算について

歳入総額	2,208,406,350円
歳出総額	1,830,472,982円
歳入・歳出差引残額	377,933,368円

堀江洋三常務理事が詳細な説明をし、その後、上西仁監事から「内部監査」、公認会計士により実施された「外部監査」について津田哲哉監事から監査報告が行われた。

審議の結果、理事者提案どおり承認可決された。

議案第3号 平成23年度歳計剰余金の処分について

歳入歳出差引剰余金	377,933,368円
準備積立金	3,855,000円
特別積立金	9,680,000円
別途積立金	0円
翌年度会計繰越金	364,398,368円

堀江常務理事が提案理由を説明し、上記の剰余金処分について理事者提案どおり承認可決された。

以上で予定された議案がすべて終了し、赤倉理事長から閉会の挨拶があった。

第109回通常組合会は午後4時45分閉会となった。

インターネット道医師国保組合ホームページをご利用ください

北海道医師国民健康保険組合では、組合ホームページを開設しております。

組合員等被保険者の皆様には、各種申請(届け出)等の手続きをはじめ、本組合の業務にかかわる諸情報等を逐次発信しております。是非ご活用をお願いいたします。

* 北海道医師国民健康保険組合ホームページアドレス

<http://www.hokkaido.med.or.jp/kokuho/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師国民健康保険組合

TEL 011-271-7471 FAX 011-241-6414